

全国自立援助ホーム協議会 第31回 四国香川大会

テーマ あきらめない！～こたえはひとつじゃない～

開催日程

2026 11/10(火)～11/11(水)

会場 サンポートホール高松・かがわ国際会議場 他(全体会・分科会)

〒760-0019 香川県高松市サンポート 2 番 1 号 TEL:087-825-5000

ホテルクレメント高松(意見交換会) 〒760-0011 香川県高松市浜ノ町 1-1 TEL:087-811-1111

目的

- ① 制度を切り拓いてきた先人たちに想いを馳せ、感謝と敬意を払い、自分自身の想いを見つめ直す。(想い)
- ② 支援の質をよりよいものに高めるために、全国レベルの知識や支援の本質を学びあう。(スキル)
- ③ あなたの居場所もここ(全国自立援助ホーム協議会)にあることを知り、明日への元気をもらいあう。(協議会)
- ④ さまざまな種別や機関との連携を深めあい、社会全体で子どもや若者を支えあう。(対地域・対社会)

実施方法 対面での集合研修 / オンライン(一部分科会) / 見学分科会 / オンデマンド配信

スケジュール

【1日目】

2026年11月10日(火)

受付 12:00～ 開会 13:00

13:00～15:30 開会式・全体会

15:45～17:15 分科会

18:00～20:00 意見交換会

【2日目】

2026年11月11日(水)

開会 9:30 閉会 11:55

9:30～11:55 特別講演・閉会式

参加費

事前申し込み(参加方法)	会 員	非会員
1 両日現地参加	10,000 円	12,000 円
2 一日現地参加	9,000 円	11,000 円
3 第 6 分科会参加(オンライン)	8,000 円	4,000 円
(別枠) 意見交換会	10,000 円	12,000 円
当日申し込み(※ご希望の分科会に入れない場合があります)		
1 両日現地参加	13,000 円	15,000 円
2 一日現地参加	11,000 円	12,000 円
※1 参加された会員の方は後日オンデマンド配信あります。1 か月間。		
※2 オンデマンドは、第3分科会・第5分科会を除く全てのプログラム。		

参加申し込み

参加を希望する方はこちらのフォームから申し込み手続きをお願いします。

10/20(火) 申し込み締切

定員 現地 300 名(先着順) / オンライン分科会 50 名(先着順)

↓ 申し込みフォーム

会場案内

お問い合わせ

全国自立援助ホーム協議会 事務局(合木宛)

TEL : 050-1722-8559

E-mail : zenjienkyou@gmail.com



主催 全国自立援助ホーム協議会

後援

こども家庭庁・香川県・全国児童養護施設協議会・公益財団法人全国里親会
全国児童家庭支援センター協議会・全国児童自立支援施設協議会・日本ファミリーホーム協議会
全国児童心理治療施設協議会・子どもシェルター全国ネットワーク会議・特定非営利活動法人えんじゅ
認定NPO法人児童虐待防止全国ネットワーク・香川県児童福祉施設連合会・香川県中小企業家同友会



全国自立援助ホーム協議会
The National Council of Youth Independent Assistance Homes

四国香川大会 開催意義

四国香川大会 実行委員長



ひいらぎ ホーム長
横山 祐加 氏

支援の現場では、答えが一つではないからこそ迷いが生まれ、その中で多様な可能性を探り続けることが求められています。また、一つのホームでできることには限りがあるため、横のつながりの中で支え合い、視野を広げていくことが重要です。こうした積み重ねが、各ホームの成長と自立援助ホーム全体の発展につながるものと捉えています。本大会では、基調講演で支援に向き合う「想い」を見つめ、特別講演でそれを支える理論や知識を学びます。想いは支援の出発点であり原動力である一方、理論や知識は支援の根拠となり、判断の軸を支え、実践を持続可能なものにします。この二つは互いに補い合いながら支援を支える「両輪」と考えています。

また、分科会は自立援助ホーム運営指針に基づき構成するとともに、オンデマンド配信やオンラインにも取り組みます。当日の参加が難しい方にも学びの機会を届け、広く共有することを四国香川大会の開催意義とします。

プログラム

1日目 11月10日(火)			2日目 11月11日(水)		
時 間	内 容	場 所	時 間	内 容	場 所
12:00	受 付		9:00	受 付	
13:00	開会式 主催者挨拶 ご来賓ご挨拶・紹介	サンポート高松 ホール棟	9:30	特別講演	
13:20	行政説明	第2小ホール	11:15	休 憩	
14:00	基調講演		11:25	閉会式	サンポート高松 ホール棟
15:30	休憩 移動			主催者挨拶 周年祝い	第2小ホール
15:45	分科会	各分科会会場		実行委員長挨拶	
17:15	分科会終了 移動			次期開催地挨拶	
18:00	意見交換会	ホテルクレメント	11:55	終 了	
20:00	終 了	高松 飛天の間		希望者のみ:四国ブロックオブショナルツアー	

11/10(火) 基調講演

自分と未来は変えられる。でも、一人では変えられない～回復の可能性と長期的伴走～

日本自立準備ホーム協議会 代表理事 高坂 朝人 氏



少年時代に15回の逮捕歴を持ち、壮絶な過去を乗り越えた高坂氏は、今、支援する側として多方面で活躍しています。現場の第一線で、傷ついた若者たちの『居場所づくり』に心血を注いでいる方です。

本講演では、非行からの更生だけではなく、心の傷や意欲の減退からの「立ち直り」や、「少し遠い先を思い描く」という支援者の姿勢を学びます。支援にはいつか終わりが来ますが、子どもたちの人生はその先も続いていきます。今の困難な状況を単なる問題としてではなく、未来へと続く大切な過程(プロセス)として捉え直す、高坂氏ならではの温かくも力強いまなざしに触れる機会とします。

11/11(水) 特別講演

支援者支援のトラウマインフォームドケアを学ぶ

兵庫県こころのケアセンター 副センター長 亀岡 智美 氏



自立援助ホームの数が急増している今、改めて「自立援助ホーム運営指針」に立ち返ることは、歴史や背景の異なる多くのホームが共通認識を持ち、それぞれの強みを活かすための大切な基盤となります。指針が掲げる理念は、トラウマインフォームドケア(TIC)の考え方と深く重なり合っています。

本研修では、TICの視点や支援者の「二次受傷」について具体的に学び、子どもたちの安心を支える関わりとともに、支援者自身が日々の実践の中で大切にされるべき心のケアの在り方を共に考えます。

11/10(火) 分科会

第1分科会 権利擁護・自立支援計画

かがわ国際会議場(定員70名)
見て聴いて感じて考える権利擁護
とアドボカシー ～子ども・当事者
の声からつくる自立支援計画～



四国学院大学 アドボカシー事業所
社会福祉学部 教授 ここまい 所長
西谷 清美 氏 合木 啓雄 氏
子どもの権利擁護の視点から自立支援計
画のあり方を見つめ、考え直す場です。
西谷清美氏の講義では本当の意味での子
どもの権利擁護とは何かを学びます。
そして、インケア、アフターケアの当事者の
方も参加して頂き、その生の声を聴き(ア
ドボカシー)、「何のための誰のための自立
支援計画なのか」あり方そのものを考え合
うグループワークを行います。皆様の参加
をお待ちしています。

第4分科会 制度政策

第2小ホール(定員100名)
「知っていると得、知らないと損」と
なる制度活用！～制度をより理解
し、「使える力」に変える～



全自協 制度政策委員長 全自協制度政策 副委員長
NEXT ホーム長 いっぽ ホーム長
関 茂樹 氏 青木 佑磨 氏
制度政策委員会は、若者が将来充実した
生活を送れるよう、必要な制度の創出や
国への政策提言を行っています。本分科
会では委員会の取り組みを紹介すると
ともに、現行制度への理解を深め、それら
を有効活用して利用者のウェルビーイング向
上に繋げることを目的としています。制度
を知り活用することは、日々の支援の幅を
広げることにつながります。皆様の活動に役
立つ内容です。質問もお受けします。

第2分科会 ホーム運営

ホール6階61会議室(定員70名)
「私はここで働きたい！」
～他責思考を手放し、自己成長に
向かうチーム作りとホーム運営～



いこなす みんなのいえ
自立支援担当職員 生活支援スタッフ
浦田 真代 氏 江藤 真唯子 氏
若者の「よりどころ」となるホームで、長く
働き続けていくために「実際にできるこ
と」は何か、考えを出し合う時間です。
縁あってホームと出会う大人が、いつまで
も健康で輝きながらサポーターの力を発
揮できたら素敵ですね。ワクワクする気
付きを持ち帰り、ホームで実践すること
を目的に、自分に視点を向けてみませんか。
「あの人だからできる」ではなく「私もや
てみたい」ことを一緒に探しましょう。

第5分科会 見学分科会

高松市仏生山町・寺井町(各15名)
違いから学び、支援の幅を広げる
～ひいらぎ(司法的な支援)
ブルーム(障害福祉との連携)～



ひいらぎ ブルーム
個別対応職員 ホーム長
金崎 愛 氏 一色 友美 氏
【15:40～17:45(移動込み)】電車で移
動し、いずれかのホームを見学します。
スーツケース等は預かり可能です。
【ひいらぎ】(最寄り駅徒歩4分)司法的な
支援を要する若者が比較的多く入居して
いますが、背景は多様で幅広いケースに
対応しています。【ブルーム】(最寄り駅徒歩
10分程度)開所3年目。法人は退居
後も生活・住まい・健康を支える障害福祉
等、複数の事業を展開しています。

第3分科会 支援

ホール5階54会議室(定員50名)
つながるホームトーク
～みんなで考えるつながりとホー
ムの未来～



全自協 研修委員長 全自協 事務局次長
夢住の家 ホーム長 カリヨンタやけ荘 ホーム長
鎌原 崇将 氏 万治 貴史 氏
「つながるホームトーク」は、自立援助ホー
ムで働くスタッフが、日々の支援での悩み
や迷いを持ち寄り、互いに語り合い考え
る対話の場です。テーマは「つながりが未
来をつくる」。若者との関わり方や自立支
援、退居後のフォローなど現場で抱える課
題を共有し、それぞれの経験や工夫から新
たな気づきや支援のヒントを見つけます。
支援者同士のつながりを深め明日からの
支援を支える力になることを目指します。

第6分科会 オンライン分科会

フルオンライン(定員50名)
社会的養護自立支援拠点事業の
実践と連携～若者へ本当に必要
な支援を考える～



わかもの拠点事業所 NPO 法人えんじゅ
わかっかつか/えんじゅ 事務局長
越智 萌 氏 五井 利明 氏
わかっかつかとえんじゅでご活躍の越智氏
に、アフターケアの現場や中間支援からみ
える社会的養護自立支援拠点事業の本質
と連携について、実践を通して学びます。
そして、コーディネーターの五井氏と一
緒に他機関連携等、今後の課題と可能性
についても考え、児童自立生活援助事業
I型のみならず、II型、III型、他多種類の
支援の場において、本当に必要な支援を
アフターケア中心に考えていきます。

会場一覧・会場図

第1分科会

かがわ国際会議場

第2分科会

6階61会議室

第3分科会

5階54会議室

第4分科会

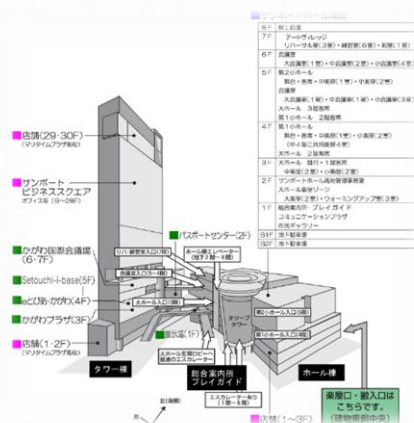
第2小ホール

第5分科会

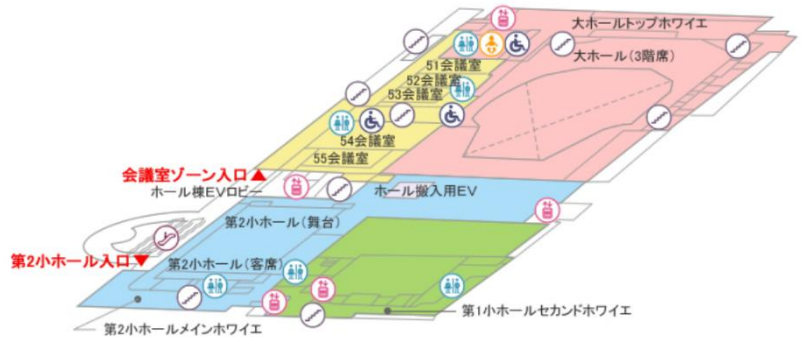
ひいらぎ・ブルーム

第6分科会

フルオンライン



5F



インフォメーション

- ・大会申し込みはこくちーずに登録して行って下さい。複数申し込みはできませんので、お一人ずつお申込みください。
- ・宿泊や移動につきましては各自で手配してください。
- ・また、コンベンションビューロー補助金申請のため、宿泊後のアンケート等にご協力よろしくお願いします。
- ・受付は、サンポートホール高松第2小ホール、入り口付近にて行います。
- ・感染症等への対策について、消毒やマスクの着用は任意です。体調がよくない方は無理せずお休みください。
- ・大会期間中の全てのプログラムにおいて、協議会・広報委員会スタッフ以外の録音・録画・撮影・転用、資料の複写・転載などは固くお断りします。
- ・託児サービスの提供はございません。
- ・手荷物や貴重品は各自の責任により管理願います。
- ・サンポートホール高松第2小ホール内での飲食はご遠慮ください。
- ・ホール棟館内は禁煙となっております。喫煙はタワー棟8階の喫煙スペースをご利用ください。
- ・会場は大会に参加されない方もいらっしゃいます。他の方のご迷惑にならないようご注意ください。
- ・会場撤収時間の関係で、閉会後は速やかにご退場をお願いします。
- ・地震・緊急地震速報が起きた場合は各会場の責任者の指示に従って避難をしてください。
- ・緊急連絡先・お困りごと対応窓口
体調が良くない・忘れ物をした等、お困りごとはお近くの実行委員、事務局員、会場受付にご相談ください。
大会期間中の緊急連絡先 050-1722-8559 (担当:事務局 合木)

四国ブロックオプションツアー

日時:11/9(月) または 11/11(水) 14:00~16:00

四国ブロック内のホームや事業所を見学できます。

- ・最寄りの交通機関までお越しください。
- ・オプションツアー事業所一覧を載せております。
- ・お申込みフォームからお申込みください。

↓ 事業所一覧



↓ 申込フォーム



四国ブロック二次会のお知らせ

意見交換会後にさらに懇親と交流を深めるために二次会場を用意しております。(定員100名程度)

二次会会場:海鮮居酒屋 神童ろ(わらじろ) 香川県高松市西の丸5-8 (087-821-3330)

会場の予約の関係上、お申込みはこくちーずよりお申込み下さい。

